

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立弁天小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和7年度の大阪市学力経年調査においては、取り組みを通して前年度に比べ改善がみられる学年も多くみられたが依然として、大阪市の標準化得点を下回るものが多い結果となった。また、不登校児童や家庭環境に課題を抱える児童も少なくない。学ぶための環境が整っていない現状がある。

課題解決に向けては「学ぶ楽しさ」を感じることができる授業づくりと一人一人の個の特性の見取りが必要不可欠であり、担任を核とした全教職員がチームとして児童の見取りにあたる組織作りと、基礎・基本的な学習内容の確かな定着と「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導法の工夫が必要である。

そのために教員一人一人の授業力と指導力の向上が不可欠であり、外部有識者を招いた研究と研修を継続的に実施していく一方で、不登校・児童虐待対策委員会での対応はもとより、関連機関との連携、コグトレ実践による学びの土台作り、漢字検定を活用した学びの達成感の向上など、児童一人ひとりを大切に寄り添った組織的対応を行うために、常に組織としての対応の在り方を見直し、安全・安心な生活環境づくりに引き続き取り組む。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も100以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82.0%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比を1.00以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「道徳科の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 0.1 ポイント向上させる
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動がすきですか」の項目においてもっとも肯定的な回答「あてはまる」をする児童の割合をどの学年においても 80%以上にする。（令和 7 年度 1 年 85%、2 年 79%、3 年 81%、4 年 85%、5 年 77%、6 年 64%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 60.0%以上にする。
- 時間外勤務時間について、年 480 時間（月 40 時間）を超えて実施する教員をゼロにする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.0%以上にする。 ● 年度目標アンケートにおける「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合 85.0%以上にする。 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 0.1 ポイント向上させる ● 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.0%以上にする。 ● 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比を 1.00 以上にする。 <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 60.0%以上にする。 ● 時間外勤務時間について、年 480 時間 (月 40 時間) を超えて実施する教員をゼロにする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いいとこみつけや相談申告機能、ミマモルメ、心の天気などのシステムや、毎月の児童理解連絡会 (兼いじめ・不登校・児童虐待対策委員会) を活用して、児童の実態を把握し、組織での対応ができるように見守ることができるようにする。そのことで、児童の困りごとがあった時に学校全体で解決できる体制を構築する。</p> <p style="text-align: right;">(いじめ・不登校への対応)</p> <p>指標</p> <p>学校教育アンケート (児童用) における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.0%以上にする。</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>道徳の研修会等を行い、道徳ノートを活用した「考えを言語化する道徳の授業づくり」「話し合いにより深め合う道徳の授業づくり」を学校全体で行う。 (道徳教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>学校教育アンケート（児童用）における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の学ぶ意欲を高める導入の工夫を研究の柱の一つとした算数科の研究を進めることで、できる喜びやわかる楽しさを味わわせる。(言語活動・理数教育の充実)</p>	
<p>指標</p> <p>学校教育アンケート（児童用）における「算数の授業は好きですか」の項目において肯定的な回答をする児童の割合を80.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>効果的な話し合い活動の場の設定を研究の柱の一つとした算数科の研究を進めることで、できる喜びやわかる楽しさを味わわせる。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>学校教育アンケート（児童用）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業の工夫や委員会活動を主体とした学期1回の体育的行事の計画・実行、児童集会の活用による児童主体の運動に関する活動を通して、運動好きの児童を育てる。 (健康教育・食育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>学校教育アンケート（児童用）における「運動が好きですか」の項目においてもっとも肯定的な回答「あてはまる」をする児童の割合をどの学年においても80%以上にする。 (令和7年度 1年85%、2年79%、3年81%、4年85%、5年77%、6年64%)</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】</p> <p>情報活用能力一覧に沿って授業を行い、ICT 校内研修を行うなど ICT（パソコン等）を活用した教育の推進を図る。 (ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>学校教育アンケート（児童用）における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>会議や研修会のもち方を工夫するとともに、週1回ゆとりの日を設定し、18時までには退勤できるようにする。また、長期休業中に学校休業日を設ける。(夏季休業5日、冬季2日) (働き方改革の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>教員一人一人の月平均時間外勤務時間が35時間以内になる割合を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立弁天小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--